

普及活動情勢報告（平成31年1月分）

高吾農業改良普及所

ニラ現地検討会で篤農技術を学ぶ



ハウス内の環境データについて話し合う生産者

1月4日、ニラ生産部は現地検討会を行い、11名が参加しました。

2戸のは場を訪問し、温湿度管理や肥培管理について意見交換をしました。新規就農者も出席し、「こんな（品質の良い）ニラを作りたい」と、モチベーションの向上が見られました。普及所からは、管内3戸の環境測定データを比較した結果を発表しました。は場によって湿度が大きく異なり、湿度の維持や除湿のためにそれぞれがしている工夫について話し合うきっかけになりました。

今後も勉強の場を設け、若手ニラ生産者の技術習得、さらにはニラ生産部全体の品質向上を支援していきます。

第3回環境制御勉強会を開催



加温機の設定温度について議論する生産者

1月8日、J A日高支所ハウス園芸部のトマト生産者7名が参加し、第3回環境制御技術勉強会が行われました。

勉強会では今年度新規就農した生産者のハウスで現地検討を行い、耕種概要や生育状況を確認し、参加者からは生育状況や栽培管理などについて質問やアドバイスがありました。その後、座学では灌水管理について普及所が講習を行い、篤農家の灌水事例を参考として、時期ごとの灌水時間や回数など、灌水方法について生産者間で質問が行われ、活発な意見交換が行われました。

普及所としては今後も引き続き、この勉強会に対して支援を行っていきます。

仁淀川町の農業・農地・担い手について考える会を開催



仁淀川町の農業のあり方・今後の対応策について協議

12月19日、仁淀川町担い手協議会による「考える会」を開催し、町長、農業担当課、農業委員会会長、J A、普及所が出席し、仁淀川町の農業のあり方と農業・農地・担い手確保について対策を協議しました。

仁淀川町で行った茶生産意向調査結果及び課題と対応を報告後、講師から「農家が主体的に計画（ビジョン）を立てること」などの助言をいただき、今後の対応策を検討しました。役場からは、中山間直払い組織で話し合いを持つ、農道などの基盤整備が必要などの意見が出されました。

今後は、プロジェクトチームを立ち上げて協議し、法人など担い手への意向調査などに取り組む予定です。

佐川町斗賀野地区で集落営農のための研修会を開催



集落営農の組織化について学ぶ参加者

12月20日、佐川町斗賀野地区で集落営農研修会を開催しました。斗賀野地区では5月から集落営農の組織化について勉強会を重ねてきたところです。講師から「組織設立に向けて重要なことは何か」という県外の事例について研修しました。参加者からは「田んぼを荒らしたくないので、やれるところから組織を立ち上げたい」、「多面的機能直払制度により水路を整理し管理しやすくして受託組織を検討したい」等の積極的な意見が聞かれました。

普及所はこれからも集落営農の組織化に向けて支援していきます。